



大村市長
松本 崇

新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます。

皆さまには健やかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、市政に対し温かいご支援・ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

昭和17年2月11日に市制が施行され、今年には68年目を迎えますが、着実な発展を遂げており、人口も92,000人に達しています。

昨年は大変な経済不況の中ではありませんでしたが、(1)九州新幹線西九州ルート(長崎ルート)の本格的な着工 (2)国道34号の国立長崎医療センター入口までの整備完成 (3)活水女子大学看護学部の開設 (4)大村競艇事業における一般会計への4億8千万円の繰り入れなど、明るいニュースが数多くありました。

競艇に関しては、本年6月に念願であったビッグレースであるSG(スヘヤルグレード)「第20回グランドチャンピオン決定戦競走」が、大村で初めて開催されることになり、全力をあげて成功させたいと思っております。

中心市街地の活性化につきましては、中心市街地のにぎわいを取り戻そうと、各団体をはじめ市民の皆さまのご意見などをいただきながら取り組んでいるところであり、昨年12月に内閣総理大臣の認定を受けたところです。

平成22年度は、児童虐待防止などの「子育て支援の充実」、太陽光発電導入などの「環境にやさしいまちづくり」、がん検診の充実を図る「市民の健康づくり」など、7つの重点施策を柱とする市政を推進していく所存であります。

このほか、早期の財政健全化をはじめとする多くの課題があり、市の更なる発展のため、全力で取り組んでまいります。

「花と歴史と技術のまち」、「日本でもっとも住みたくなるまち」大村を目指しております。本年も変わらぬご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さまにとりまして輝かしい一年となりますよう、心からお祈り申し上げます、新年のごあいさつといたします。

平成22年元旦

大村市長 松本 崇



大村市議会議長
廣瀬 政和

新年を迎えて

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆さまには清々しく新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げますとともに、旧年中は「市民と議会のつどい」など市議会に對しまして温かいご理解とご協力を賜り、心からお礼申し上げます。

さて、一年を振り返りますと、国内では、世界的な経済不況を克服するため、国・地方をあげて緊急経済対策に取り組んでまいりました。また、9月の衆議院総選挙では政権交代がなされるなどめまぐるしい変動の一年でありました。

一方、大村市においては、九州新幹線西九州ルートに着工や国道34号拡幅事業の国立長崎医療センター入口交差点までが完成し、現在、与崎交差点までが早期完成に向け整備中であるなど、住みよいまちづくりに向けた事業が着実に進んでま

いりました。

これから変革のときを迎え、地方自治体においても自己責任・自己決定による自主自立が一層求められてまいります。市議会といたしましても、昨年施行しました議会基本条例の理念に基づき、引き続き議会の活性化に取り組むとともに、市民の皆さまとともに住みよいまちづくりを目指し努力していく決意を新たにしております。

どうか本年も変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、市民の皆さまのご健勝ご多幸を心からご祈念いたしました。新年のごあいさついたします。

平成22年元旦

大村市議会議長 廣瀬 政和